⑲ 日 本 国 特 許 庁 (JP) ⑩実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U) 平4-5177

Sint.Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)1月17日

B 62 D 5/04

9034-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

回考案の名称

自動車における密閉室の冷却装置

願 平2-46550 ②)実

❷出 頤 平2(1990)4月28日

城 戸 @考案 著

友 幸

大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社

内

⑪出 願 人 ダイハツ工業株式会社

大阪府池田市ダイハツ町1番1号

個代 理 人 弁理士 津田 直久

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称

自動車における密閉室の冷却装置

2. 実用新案登録請求の範囲

熱発生源を収容する自動車における密閉室の 冷却装置であって、前記密閉室とエンジンのイン テークマニホールドの負圧部とを排気用通路で連 通すると共に、前記密閉室をエンジンのエアクリ ーナ内に吸気用通路で連通したことを特徴とする 自動車における密閉室の冷却装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、パワーステアリング装置や後輪操舵用の電動モータ等を収容する密閉室の冷却装置に関する。

(従来技術)

一般にこの種の冷却装置としては、例えば実 開昭 6 1 - 1 9 0 7 6 5 号公報に示されているご とく、エンジンのエアクリーナから延びる空気吸 入ダクトをパワーステアリング用の電動モータの

収容室に接続して、前記エアクリーナ内に導入される空気を前記ダクトを介して前記収容室にも導入してね前記電動モータを冷却するようにしたものが開示されている。

(考案が解決しようとする課題)

ところで以上の構造のものでは、前記エアクリーナから前記収容室への空気の供給は、前記エアクリーナへの導入圧に頼っているので、前記収容室に空気を充分供給することが難しく、場合によっては前記収容室内の電動モータ等を確実に冷却することが出来ない。

本考案は以上の実情に鑑みて開発したものであって、目的とするところは、エンジンのインテークマニホールドで発生する負圧を有効に利用して、熱発生源を収容した密閉室を効率よく冷却することの出来る冷却装置を提供するにある。

(課題を解決するための手段)

しかして本考案は、熱発生源を収容する密閉室とエンジンのインテークマニホールドの負圧部とを排気用通路で連通すると共に、前記密閉室を

エンジンのエアクリーナ内に吸気用通路で連通したことを特徴とするものである。

(作用)

本考案によれば、エンジン駆動に伴い発生するインテークマニホールド内の負圧の作用により、前記密閉室内の空気が強制的に前記インテークマニホールド側に吸引されるので、前記吸気用通路を介して前記密閉室への空気の導入が促進されるのである。

(実 施 例)

以下、本考案を図面に示す実施例に従って説明する。

第1図は、電動モータにより後輪を操舵するようにした後輪操舵装置を示したものであって、まずこの後輪操舵装置の概略を説明すると、ラックハウジング(1)内に、ラックバー(10)を車幅方向に移動可能に設けて、該ラックバー(10)の長さ方向両端部に、左右後輪(図示せず)から延びるタイロッド(11)をそれぞれ連結している。

また前記ラックハウジング(1)の前部には、 電動モータ(2)を密閉状に収容する第1密閉室 (S1)と、電磁ブレーキ(3)を密閉状に収容 する第2密閉室(S2)と、同じく減速機(4) を密閉状に収容する第3密閉室(S3)とを備え たステアリングハウジング(5)を一体に設けて いる。

しかして以上の後輪操舵装置において、前記ステアリングハウジング (5)に、それぞれ一端が前記第1収容室 (S1)内に連通する吸気用通



また図に示す実施例では、前記排気用通路(7)の途中に絞り弁(71)を介装して、前記ィンテークマニホールド(9)内の負圧に悪影響が及ぶのを防止するようにしている。

尚、ガソリン蒸気が前記第1収容室(S 1) 内の電動モータ(2)に悪影響を及ぼさないよう

にするために、前記吸気用通路(6)及び排気用 通路(7)の途中にキャニスタを介装するのが好 ましい。

以上の実施例では、前記後輪操舵装置における前記第1密閉室(S1)に収容した電動モータ

(2)の冷却を行うようにしたが、これに限定されるものではなく、第2図に概略的に示すごとく、前記第2収容室(S2)に収容した電磁ブレーキ(3)の冷却を行うようにしてもよく、かかる場合には、第2図に明らかなように、前記吸気用通路(6)及び排気用通路(7)を前記第2収容室(S2)内にそれぞれ連通すればよい。

また前記後輪操舵装置における電動モータ(2)もしくは電磁ブレーキ(3)の冷却の他、例えば電動式パワーステアリング装置の電動モータやアンチロックブレーキシステムを構成するポンプの駆動モータなどの冷却装置にも適用することが出来る。

(考案の効果)

以上のごとく本考案は、熱発生源を収容する 密閉室とエンジンのインテークマニホールドの負 圧部とを排気用通路で連通すると共に、前記密閉 室をエンジンのエアクリーナ内に吸気用通路で連 通したことにより、エンジン駆動に伴いインテー クマニホールドの負圧部に発生する負圧の作用に

より、前記密閉室内の空気を強制的に前記インテークマニホールド側に吸引して、前記吸気用通路を介して前記密閉室への空気の導入を促進するので、前記密閉室内に収容している例えば電動モータなどの熱発生を効率よくしかもクリーンに冷却することが出来る。

4. 図面の簡単な説明

第1面は本考案にかかる密閉室の冷却装置の 一実施例を一部切欠いて示す説明図、第2図は別 の実施例を示す説明図である。

(2) ・・・・・電動モータ (熱発生源)

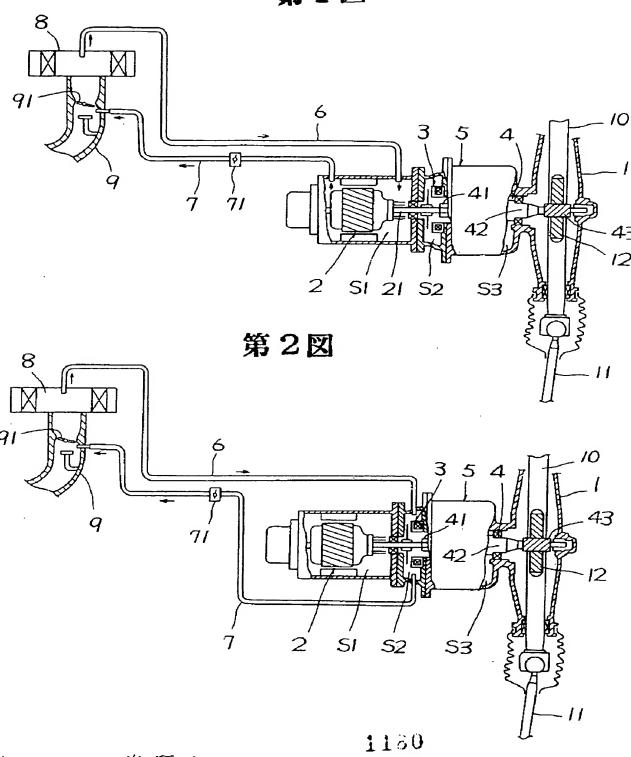
- (6) · · · · · · · 吸 気 用 通 路
- (7) · · · · · 排 気 用 通 路
- (8)・・・・・エアクリーナ
- (9) ・・・・・インテークマニホールド
- (S1) ・・・・第1密閉室(密閉室)

出願人 ダイハッ工業株式会社

代理人 弁理士 津 田 直 久



第1図



出願人 ダイハツ工業株式会社 代理人 弁理士 津田直久 製工: 5177

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not infined to the nems checked.
☑ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.